**自主管理手引書（例**）

**（循環式浴槽を使用する施設用）**

**Ⅰ 目的**

入浴者のレジオネラ症の感染防止を図るため、施設の衛生管理に関するマニュアルを　定め、適正管理を行う。

**Ⅱ 衛生管理体制**

**１．営業者**

　（１）氏名 ○○○○

　（２）役割

・入浴施設の管理に関する総括

　　　・自主管理手引書、点検表の作成

　　・従業者に自主管理手引書、点検表を周知し、衛生管理を徹底

**２．衛生管理責任者**

　（１）氏名 ○○○○

　（２）役割 ・日常の衛生管理とその記録の作成

**３．浴槽系統の状況**

　（１）○○循環系統

　　・対象浴槽名 ：男子内風呂（容量：○ｍ３）、女子内風呂（容量：○ｍ３）

　　・原水 ：水道水（又は温泉水、地下水、その他）

　　・入浴者数 ：平均○○人 ／日（最高○○人／日）

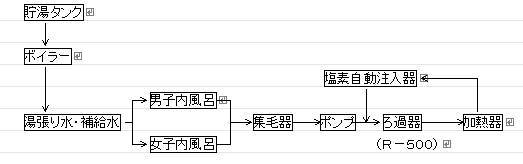
　　・ろ過器型式 ：Ｒ－５００（ろ過能力：○○ｍ３／ｈ）

　　・消毒方法 ：塩素（オゾン、紫外線）

　　・消毒装置 ：塩素自動注入装置（ろ過器前又は後に注入弁）

　　・循環水の利用 ：連日使用型（又は毎日完全換水型）

　　・系統図 ：下図のとおり



　　（２）循環系統以外

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象浴槽名 | 容量 | 消毒設備 | 投入方法 | 備考 |
| 男子ジャグジー | ○ｍ３ | ○○剤投入 | ○時間毎に○mL |  |
| 女子ジャグジー | ○ｍ３ | ○○剤投入 | ○時間毎に○mL |  |

**Ⅲ 衛生管理の実施**

**１．各系統ごとの実施項目**

**（１）○○循環系統（連日使用型浴槽の場合）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施項目 | 実施時期 | 実施者 |
| ①浴槽の清掃及び消毒、浴　槽水の換水  ②浴槽水の消毒  ・残留塩素濃度の測定と結　果の記録  　（塩素注入量の調整）  ③塩素自動注入器の確認  ・薬剤残量の確認と注入弁　の清掃  ・機器の点検  ④循環ろ過装置の消毒・点検　・逆洗浄  ・集毛器の清掃  ・循環配管（ろ過器含む）の　消毒  ・ぬめり除去    ・機器の点検  ⑤水質検査の実施 | 毎週○曜日  毎日○時、△時、□時、◇時  毎日○時（入浴終了後）  年○回（〇月、〇月、〇月）  毎週○曜日  毎日○時（入浴終了後）  毎週○曜日  年○回（○月、○月、○月）  年２回（○月、△月） | 清掃担当 ○○  衛生管理責任者  清掃担当 ○○  業者依頼  清掃担当 ○○  清掃担当 ○○  清掃担当 ○○  業者依頼 ○○  衛生管理責任者 |

**（２）□□循環系統（毎日完全換水型浴槽の場合）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施項目 | 実施時期 | 実施者 |
| ①浴槽の清掃及び浴槽水の換水  ②浴槽の消毒  ③浴槽水の消毒  ・残留塩素濃度の測定と結　果の記録  　（塩素注入量の調整）  ④塩素自動注入器の確認  ・薬剤残量の確認と注入弁　の清掃  ・機器の点検  ⑤循環ろ過装置の消毒・点検　・逆洗浄  ・集毛器の清掃  ・循環配管（ろ過器含む）の　消毒・ぬめり除去  ・機器の点検  ⑥水質検査の実施 | 毎日○時（入浴終了後）  毎月○日、○日  毎日○時、△時、□時、◇時  毎日○時（入浴終了後）  年○回（○月、○月、○月）  毎週○曜日  毎日○時（入浴終了後）  毎週○曜日  年○回（○月、○月、○月）  年１回（○月） | 清掃担当 ○○  清掃担当 ○○  衛生管理責任者  清掃担当 ○○  業者依頼  清掃担当 ○○  清掃担当 ○○  清掃担当 ○○  業者依頼  衛生管理責任者 |

**２．各系統共通事項**

（１）点検記録表の作成

衛生管理が適正に行われているか、実施漏れがないかを確認するために、点検記録表を作成し、その記録は日付順にファイルに綴じ込んで３年間保存する。

　＜作成手順＞

①作業実施者は各項目を実施した際に、点検記録表に記入を行う。

②毎日実施する必要がない項目には、実施した場合に○印を、必要がなかった場合には、

斜線を引く。

③衛生管理責任者は、毎日終了後にその日の点検記録表をチェックして、確認印を押印

する。

（２）点検管理に伴う注意事項

　①入浴施設使用中は、十分に原湯又は循環ろ過水を供給することにより浴槽を満杯と

し浴槽水を清浄に保つこと。

　②残留塩素濃度は入浴者の増減により変動することから、測定結果を基に必要であれ

ば、注入装置の設定変更や手動注入など実施し、入浴施設使用中は○mg／L を維持す

るよう調整を行うこと。

　③残留塩素濃度を測定するための採水箇所は、各浴槽ごとに定めること。

　 （選定にあたっては、浴槽の構造等を考慮し実地に検証を行うこと。）

　④浴槽や集毛器、ろ過器の清掃の際は、ぬめりの状態など確認をしておくこと。

　⑤残留塩素測定時などを利用して、入浴施設使用中は、浴槽や浴槽水の汚れを適宜、

確認しておくこと。

　⑥換水については、完全に水を落とし、貯め湯をしないこと。

　⑦消毒装置の薬液の注入が正常に行われていること（注入弁のノズルが詰まったり、

空気を咬んで送液が停止していないか、ポンプは正常に作動しているかなど）を毎日

確認すること。

　⑧○○循環系統（連日使用型浴槽）では、夜間も循環装置を停止せず、常時、遊離塩素

を含む浴槽水を循環させておくこと。

　⑨ジャグジーでは、気泡発生装置の空気取り入れ口のフィルターの破損等ないか確認

すること。

　⑩水質検査のための採水は、残留塩素濃度測定を行っている箇所で行い、検査の月と

定められた月の中で、循環ろ過装置の消毒・点検を行う直前に行うこと。

（３）貯湯タンク

　①土ぼこり、汚水が入らないか、破損個所がないか、定期的に調べること

　②定期的にぬめりの状況を監視し、ぬめりの除去のための清掃、消毒を実施すること。

**Ⅳ 改善措置**

（１）測定・点検に基づく改善

衛生管理責任者は、適宜、点検記録表を参考に必要な措置を指示する。

（２）水質検査の結果に基づく改善

①衛生管理者は、水質検査の結果を速やかに営業者に報告すること。

②営業者は、水質検査の結果がレジオネラ属菌陽性となった場合には速やかに〇〇保健所にその旨を届け出るとともに改善措置を検討すること。なお、健康被害が懸念され　　　　る場合には、入浴施設利用者の健康被害の有無について調査を行うこと。

（３）営業者は改善結果を反映して、この手引書の更新を行うこと。

**Ⅴ 緊急時の対応**

**１．レジオネラ症患者（疑いの場合も含む）が発生した場合**

　　営業者は、直ちに〇〇保健所に通報し、その指示に従うこと。

　　　①浴槽、循環ろ過装置等施設の現状を保持する。

　　　②浴槽の使用を中止する。

　　　③独自の判断で浴槽内等への消毒剤の投入を行わない。

**２．緊急時の連絡表**